

(様式第4号) 第7回上田市武石地域総合センター整備検討委員会 会議概要

1 審議会名	上田市武石地域総合センター整備検討委員会
2 日時	平成29年10月24日 午前9時00分から午前11時00分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、北澤良子副会長、市川隆委員、井出守雄委員、伊藤定衛委員、柿原宣江委員、児玉卓文委員、児玉将男委員、小林明美委員、藤川まゆみ委員
5 市側出席者	木藤武石地域自治センター長、依田センター次長、下村市民サービス課長、滝沢産業建設課長、田中建築担当係長、金子庶務担当係長、金井庶務担当係長、坂部地域政策担当係長、小林建築担当主査、桜井建築担当主査、掛川庶務担当主任
6 公開・非公開	<u>公開</u> ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成29年11月13日

協 議 事 項 等

1 開会 (依田センター次長)

2 会長あいさつ (池内会長)

3 検討及び協議事項

(1) 武石地域総合センター建設基本計画について

- ・ 配布資料 (配置計画、フロア構成、駐車場の配置) 説明 (田中建築担当係長)  
資料1 (A案 (平屋)、B案 (平屋・一部2階建て)、C案 (2階建て)、D案 (2階・一部3階建て))  
参考資料1～3 (フロア構成イメージ①②、駐車場・広場イメージ)

[質疑・意見]

(委員) 前回、一部2階建て案を希望したが、1階に図書、保健エリアを持ってきてもらいたいと思って提案した。子どもを連れてのちょっとした待ち時間、検診の待ち時間などで子どもが本を手にとれる。今の図書室は、小さな子どもにも安全で気軽に本を手にとれてとてもよいと思っている。

(委員) 保健エリアは、検診車との関係や乳幼児も来るので1階がよいのではないか。

(委員) 私も保健エリアは1階がよいと思う。交流スペースと合わせれば、来庁者が血圧を計ったり、健康相談をしたりできるのではないか。B案の西側部分にもう少し2階部分をもってきてC案に近い形にすれば、3階建てにしなくてもよいのではないか。

(委員) 図書エリアは、図書室として貸出するのであれば、独立した部屋にした方がよい。そうでなければ、交流スペースの壁面に図書を置く形がよいのではないか。面積は限られているので、ひとつの空間で複数の役割を持たせるような工夫ができないか。どれも1階が便利であると思うので、どのエリアをどう組み合わせるかが課題。

(委員) 共有スペースに複数の機能を組み合わせないと、独立した部屋を確保しようとする面積が足りなくなってしまう。1階は限られているため、コミュニティーホール、自治センターのメインフロア以外入れないのではないか。そこへ子どもたちのスペースや保健エリアを設けるとしたら、交流スペースの部分しかない。今回のフロア構成イメージは、具体的な面積で割り振られているのか。

(事務局) 今回のフロア構成は、各担当課からの要望を取り入れ、大まかな面積で割り振って作成している。塩田地域自治センターは、図書館機能はないが、交流スペースに図書コーナーを設けていて好評だと聞いている。

(委員) 今の図書室の利用状況はどうか。

(事務局) 蔵書は約8,000冊で上田地域図書館情報ネットワーク「エコール」も導入されている。小さな

子どもが利用しやすいスペースも設けている。利用者数について本日は資料がなく回答できないが、読書サークルや保育園の園児、エコーを利用する一般の人も多数利用している。

(委員) 武石の図書室には、武石所縁の人の本がある。また武石の図書室にない本は予約で取り寄せられるため、ぜひ武石地域にも図書室は必要だと思っている。交流エリアの図書コーナーは世代間交流にはとてもよいと思う。図書室と図書コーナーは、分けてもいいのではないか。

(委員) B案、C案のフロア構成イメージは作成できないのか。

(事務局) 今回のフロア構成イメージを作成する中でいちばん課題になったのは、自然採光をどう確保するかである。既存のホールが3階建てに近い高さがあるため、その面からは光が採れない。中廊下を設けた場合、部屋は光が採れるが廊下が真っ暗になってしまうため、今回光が採れるよう中庭を真ん中に設けてL字型に設計した。廊下の幅や部屋の奥行き、適切な採光等を考えた結果、平屋建てや2階建てではイメージが作成できなかったのが現状である。

(委員) B、C案のフロア構成も示してもらわないと比較ができず、議論ができない。

(事務局) フロア構成は、本来基本設計での業務のため、現時点で短い期間にすべてのフロア構成案を示すのは困難である。いただいた要望は最大限生かせるようにしたい。

(委員) 保健エリアは検診車の関係もあり1階がよいという意見が出たが、2階にした場合に問題になる個所はあるか。2階で全てまかなえるのか。

(事務局) 保健エリアは、土足厳禁の指導室、検診室兼相談室兼授乳室等が求められている。大きな健診は、公民館の会議室等も使いながらの利用になる。検診の種類によって使用する部屋の数や場所も異なる。

(委員) 保健センターは毎日機能しているのか。

(事務局) 健康センターは毎日機能しており、健康相談は随時受け付けている。乳幼児健診は健康センターを利用しているが、大人の健診は現在、武石公民館（ホール、会議室）を利用している。

(委員) 保健エリアが乳幼児中心のものであれば、空いているときも多いのではないか。その他の利用にも使用できるのではないか。

(事務局) 空いていれば使用できるので、共用していくことも必要だと考えている。

(委員) お子さんがある方のご意見はいかがか。

(委員) エレベーターはできれば利用したくないが、階段は子どもを抱っこしていると危険である。できれば、1階入口近くがよいと思う。

(委員) 妊婦さんや小さいお子さんを連れた方は、1階の来客が多い場所より2階の静かな空間の方が落ち着けてよいのではないか。今の施設のイメージにとらわれるのではなく、総合的に考えた方がよいと思う。

(委員) 保育園側の送迎用の駐車スペースをつぶして1階を広くするか、駐車スペースを確保して上に積むかどちらかではないか。

(会長) B案、C案の2階建てにした場合、防音エリアが単独の階ではなくなってしまうがいかがか。全て希望どおりにするのは困難なので、どこで折り合いをつけるかになる。

(委員) 3階の防音エリアまで、太鼓の運搬等をするのは大変ではないか。3階の防音エリアをコミュニティーホールで代替できないのか。防音エリアは何を計画しているのか。

(事務局) 3階の防音エリアは、多目的ホールと工作室を考えている。

(委員) 保健エリアには調理室も含まれているのか。

(事務局) 調理室は、本来であれば公民館機能になる。

- (委員) 今年は通学合宿も行われたりしたので、調理室への食材の搬入などを考慮して1階がよいと思う。
- (委員) 交流スペースには子どもたちが利用できるスペースがあった方がよい。
- (委員) 図書エリアはどの程度を予定しているのか。
- (事務局) 学習室や閉架書庫の設置も計画しており、現状より広めのものを計画している。
- (委員) C案だと1階はどの程度の大きさになるのか。現在の公民館とほぼ同じと考えてよいのか。
- (事務局) 参考資料1の駐車スペースまでが建物になると考えていただければよい。C案は現公民館とほぼ同じであるが、C案でフロア構成を作成しようとするとう採光がとれない。どうしても光庭が必要になるが設計が困難で作成できないのが現状である。
- (委員) 光庭はそれほど必要ないのではないか。
- (委員) 光庭は採光だけでなく風通しのためにも必要である。光庭がなければ、通風もなくなってしまうし、日中も電気をつけなくてはいけなくなる。
- (委員) 例えば今の公民館(C案)でどこが不便なのかを考えればよいのではないか。コミュニティーホールがあれば、3階の大空間エリアは必要ないのではないか。
- (委員) ただし、今の公民館にはない機能も集約して入れなければいけない。
- (委員) 現在の図書室の辺りを保健エリアにしたらどうか。
- (委員) 武石という自然環境の良い所で、通風も採光もとれない閉鎖空間の施設を造ってしまってもよいのか。光庭は採光や通風だけではなく、建物を広く見せ奥行きを感じさせてくれる。交流スペースはかなりの大空間であり有効に使えるのではないか。3階は不要だと言わず、ぜひ造ってもらった方がよい。また、エレベーターの位置はフロア構成イメージ②(参考資料2)の方がよい。
- (委員) 3階の大空間エリアは、現在の寿楽荘を再現した形でステージもつけてもらいたい。寿楽荘は、高齢者クラブやボランティア団体、音楽活動などで利用しており、それらの活動ができるよう造っていただきたい。
- (委員) 1階入口玄関からの廊下と交流スペース、ホワイエは、ひとつの空間として考えてよいのか。
- (事務局) ひとつの大空間として広く利用でき、必要に応じて家具等で仕切るような形にしたいと考えている。
- (委員) 外階段は避難経路も兼ねていると思うが、位置は違う場所の方がよいのではないか。
- (事務局) 避難経路でもある。あくまでもイメージとして考えていただきたい。
- (委員) 現在のコミュニティーホールの利用状況はどうか。できるだけ多機能に利用できた方がよい。
- (事務局) ともしびの里駅伝大会や文化祭などの地域の大イベントや月2回の高齢者の介護予防事業、公民館事業や各種会議、説明会等さまざまな活動に利用している。
- (委員) 全体会議のあとに分科会を同じ会場でき、会議室としても広くて利用しやすい。他地域よりも多機能に利用していると思う。
- (会長) C案、D案で意見が割れている。出された意見が今後の設計に反映されていくので意見は全て出し切ってほしい。
- (委員) D案のメリットとしてコストが安く面積も大きくとれるとのことだが、C案と比べてD案のコストメリットはどの程度なのか。
- (事務局) 複数階にしてコストを抑えた分、C案だと2,500㎡、D案だと2,600㎡弱まで面積を増やすことができるかと試算している。
- (委員) コスト(事業費10億円)優先で考えた方がよいのか。面積(2,500㎡)優先で考えた方がよいのか。

(事務局) コスト優先とし、面積 2,500 m<sup>2</sup>を目指して必要であれば多少超えてもよいと考えている。

(委員) 参考資料 3 の駐車場・広場イメージだが、催しができるような緑地を広げてもらいたい。

(委員) 具体的には芝生ということか。

(委員) 芝生にできればよいと思うが、管理が大変でもある。

(委員) 上段駐車場は、横列 9 台も止められるのか。

(事務局) 測量がまだ済んでいないが、公図や航空写真などを用いて作成し概ね入る予定である。

(委員) 今日の委員会として 1 階希望は、図書、保健エリア、調理室、交流スペースという内容。設計がどうなるかはわからないが、できれば今日何階にするのか決めの方がよいと考えていた。

(事務局) 検討委員会、各種団体、庁内からの希望や意見をふまえ、優先順位を決めて設計をしていく。

(委員) 希望を言い出したらきりが無い。まちづくり活動拠点室は、部屋としてではなく事務エリアの一部でよいと思っている。

(委員) 3 階建てがよいとなれば、それで決めなければ部屋割りも決まらない。

(会長) D 案の 2 階建て (一部 3 階建て) 案を進めていく形でよいか。

～ 反対意見なし、一同了承 ～

(会長) それでは D 案を基本とすることにする。

(事務局) 来月の委員会で、基本計画の素々案をまとめたいと考えている。委員会でお認めいただいた後、地域協議会、市への報告を経て、1 月中～下旬に住民説明会を開催したい。

・配布資料 (配置計画～業務継続計画) 説明 (依田センター次長)

前回委員会の内容を踏まえ、変更した点の説明

～ 質問、意見なし ～

## (2) その他

・第 8 回武石地域総合センター整備検討委員会 11 月 17 日 (金) 午前 9 時から

## 5 閉会 (依田センター次長)